景観の彫刻　―庭―　笹谷晃生展

会　　期　　2011 年 9 月 16 日（金）～10 月 23 日（日）〈32 日間〉
会　　場　　企画展示室、美術工芸展示室、文化の森敷地内の野外
展示作品　　9 作品
観 覧 料　　無料
入場者数　　1,685 人

内　　容

滞在制作やワークショップを通じて市民と作家が交流する場を提供する「芸術と自然」をテーマとして、開館以来展覧会を開催しています。2011 年度は神戸市在住の笹谷晃生（1953 年－）を紹介しました。

銅や鉄、陶やガラスを用い、植物や雲、大気や湿度といった人を取り囲む自然の現象に着目した笹谷の彫刻には、硬質な素材の肌合い、鋭い垂直線、曲線による有機的なかたち、様々な表情をみせる作品には、洗練された美しさが宿っています。しかし、作家は彫刻を制作するだけではなく、作品を置いたときの空間の「景観」を強く意識してきました。その表現の根底には、日本の伝統的な自然観を感じることができます。笹谷晃生は、そうした古来より根付いている自然への潜在的な感覚に、今日的な環境に対する意識を重ね合わせ、独自の世界観を表現しています。

この展覧会では､複数の作品によって構成されるインスタレーションを発表しました｡｢景観の彫刻―庭―」と題して、作家は室内空間でありながら彫刻群によってつくりだされる庭園を構想し、日常とは異なる時間が流れる空間の実現を目指しました。

関連行事

■アートな 1 日講座「笹谷晃生ワークショップ＋アーティストトーク」
9 月 25 日（日）13:00～16:00　エントランスホール　参加料:100 円　参加者:19 名
講師：笹谷晃生氏

刊行物

『景観の彫刻―庭―笹谷晃生展』A5 判　16 頁　価格 100 円

景観の彫刻－庭－　笹谷晃生展　作品リスト

no.	タイトル		素材	点数	サイズ（H×W×D）	制作年
1	湿度について	5512	鉄、ガラス	1 点	39.0×14.0×8.5cm	2008 年
2	草本	5801～5807	鉄	21 点	70.0×15.0×15.0cm	2011 年
		5813～5826	鉄		70.0×15.0×15.0cm	
3	草本		鉄	12 点	132.0×20.0×18.0cm	2010 年
4	景土		陶	16 点	66.5×71.0×71.0cm	1993 年
5	草本	5526	銅	40 点	18.0×7.0×7.0cm	2008 年
6	樹景　鉄樹	5808	鉄	5 点	215.0×35.0×10.0cm	2011 年
		5809	鉄		215.0×35.0×10.0cm	2011 年
		5810	鉄		215.0×35.0×10.0cm	2011 年
		5811	鉄		215.0×35.0×10.0cm	2011 年
		5812	鉄		215.0×35.0×10.0cm	2011 年
7	湿度について	17 の培地	銅、鉄、陶、ガラス	17 点	250.0×50.0×50.0cm	1990 年
8	湿度について	培地 3801	銅、鉄、陶、ガラス	56 点	119.0×12.5×12.5cm	1992 年
9	湿度について	5827	銅、鉄、ガラス	5 点	119.0×12.5×12.5cm	2011 年

※展示作品の所蔵先について：１，２，４～９は作家蔵、３は美濃加茂市民ミュージアム蔵